

議長／皆さん、おはようございます。

ただいまより、平成 28 年 6 月武雄市議会定例会を開会いたします。

これより直ちに、本日の会議を開きます。

市長から提出されました、第 38 号議案から第 47 号議案までの 10 議案と、報告第 3 号から報告第 8 号までの報告 6 件を一括上程いたします。

本日の議事に入ります前に、去る 5 月 31 日に開催されました、全国市議会議長会第 92 回定期総会において、永年勤続表彰の栄を受けられました議員の皆様方に対しまして、ただいまから表彰状の伝達を行いたいと思いますので、その間、暫時休憩をいたします。

＊ 休憩中 ＊

議長／休憩前に引き続き会議を開きます。

日程に基づき、議事を進めます。

日程第 1 会期の決定を議題といたします。

本定例会の会期等に関し、議会運営委員会に諮問をいたしておりましたので、これに対する議会運営委員長の答申を求めます。

松尾初秋議会運営委員長

松尾初秋議会運営委員長／皆さん、おはようございます。

平成 28 年 6 月武雄市議会定例会の招集に基づきまして、議長から諮問がありましたので、6 月 1 日、議会運営委員会を開催し、協議いたしました結果について、御報告申し上げます。

議長から答申がありました事項は、第 1. 会期及び会期日程について、第 2. 付議事件の審議順序及び委員会付託の要否について、第 3. 一般質問の質問順序について、以上 3 項目でございます。

本定例会において審議すべき議案等は、ただいま議長から上程になりました、専決処分の承認 1 件、条例議案 4 件、事件議案 4 件、予算議案 1 件、報告 6 件の計 16 件でございます。なお、追加議案として、専決処分の承認 1 件、条例議案 1 件、事件議案 1 件、予算議案 1 件が予定されております。

以上の件について協議いたしました。

まず、議案の審議順序及び委員会付託の要否についてでございます。

議案番号順に審議を行い、第 38 号議案 専決処分の承認については、所管の常任委員会の付託を省略し、即決して差し支えないものとし、第 47 号議案 平成 28 年度武雄市一般会計補正予算(第 3 回)につきましては、所管の常任委員会に分割して付託、その他の議案につきましては、所管の常任委員会に付託することで、意見の一致を見ました。

次に、一般質問でございます。

12 人の議員から 39 項目の通告がなされており、抽選結果はお手元に配付のとおりで、10 日から、土曜日曜の休日をはさんで 13 日、14 日の、通算 3 日間の日程で、質問順序は抽選番号順に、午前 9 時開議としてそれぞれ 4 名ずつ行うことに決定いたしました。

質問時間につきましては、答弁を含めて 60 分であります。

以上のことを考慮し、検討いたしました結果、会期は、本日 2 日から 21 日までの 20 日間が適当である旨、決定をいたしました。

なお、日程等の詳細については、お手元に配付のとおりです。

答申は以上であります。

議長／お諮りいたします。

会期の決定につきましては、ただいまの議会運営委員長の答申のとおり、本日 2 日から 6 月 21 日までの 20 日間と決定をいたしたいと思います。

これに御異議ございませんか。

> 異議なし

御異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は、本日 2 日から 6 月 21 日までの 20 日間とすることに決定をいたしました。

日程第 2 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、武雄市議会会議規則第 88 条の規定により、2 番 猪村議員、6 番 松尾陽輔議員、9 番 石橋議員の以上 3 名を指名いたします。

日程第 3 議長の諸報告を申し上げます。

議長の諸報告については、お手元に配付いたしております文書をもって報告にかえさせていただきます。

日程第 4 市長の提案事項に関する説明を求めます。

小松市長

小松市長／おはようございます。

まず、熊本地震支援活動における職員の不祥事につきまして、市民の皆様、議会の皆様、被災地の皆様に対しまして深くおわびを申し上げます。

今後、このようなことを繰り返さぬよう、全職員の服務規律を徹底し、信頼回復に全力で努めてまいります。

本当に申しわけございませんでした。

武雄市では熊本地震発生以降、私を本部長とする「武雄市平成 28 年熊本地震支援本部」を地震発生翌日の 4 月 15 日に設置し、ハブ機能を含む物的支援や人的支援、被災者の受け入

れ、婦人会や各学校による募金活動など、「WITH THE KUMAMOTO」をスローガンに、オール武雄でいち早く取り組んでまいりました。

支援物資、義援金を提供いただいた、市民の皆様、企業団体の皆様にこの場をお借りしまして御礼申し上げます。

また、九州全体に活気を取り戻すためのきっかけとなるべく、観光客宿泊キャンペーンの実施など被災された方が一日でも早く平穏な日常を取り戻されるよう支援活動を行ってまいりました。

今回、失った信頼を取り戻すため、職員全員が、市の職務、そして被災地支援に、これまで以上に取り組んでまいります。

それでは、教育についてであります。

子どもの貧困対策につきましては、4月に設置いたしました「こどもの貧困対策課」におきまして、児童生徒や保護者を対象に、実態調査を行い、子どもが孤立しないよう、効果的な施策を実施し、子どもの居場所づくりを行ってまいります。

官民一体型学校につきましては、武内小学校、東川登小学校に加え、本年4月より、朝日小学校、橘小学校、若木小学校の3校が加わり5校に拡充、プログラミング教育につきましても、対象学年を拡大して取り組んでおります。

さらに、タブレットを活用した英語教育の充実など、ICT教育を推進してまいります。

地域の皆様には、コミュニティースクールや地域学校協働本部の取組等、地域一体となった活動に御協力をいただいていることに対し、感謝申し上げます。

また、4月10日、神村学園高等部の単位制・広域通信制普通科武雄校舎が開校されました。

想定を超える41名の皆さんが、第1期生として入学されております。

武雄市は神村学園とも「組んで」、常識にとらわれず、高校生の子どもたちの人生の選択肢や可能性を、今後さらに広げてまいります。

食育については、平成26年度より2年間、株式会社タニタと連携し、1人1台のタブレット環境を利活用して、「スーパー食育スクール」に取り組んでまいりましたが、子どもたちの食生活の改善に効果があったことから、このたび対象校を拡大し取組を広げて実施したいと考えております。

武雄市は、引き続き、地域、家庭、学校、企業等が「組む」ことで、未来を担うすべての子どもたちに充実した学びの環境をつくり、子どもたちの生き抜く力を育みます。

地方創生の推進について。

昨年策定しました、まち・ひと・しごと創生総合戦略に沿って地方創生を着実に推進してまいります。

まず何よりも大切なものは、雇用を創出して所得を上げることです。

その1つとして、武雄の基幹産業である農業の後継者育成が急務であります。

JAさが、県との共同事業により、新規就農者の確保育成のため、トレーニングファーム整備事業に着手し、市内外から新規事業者を募集して、営農知識を習得してもらい、あわせ

て定住促進を図ります。

また、「健康寿命一歳延伸」を達成するため、健康ポイント事業を4月から開始し、現在800名を超える市民の皆様に参加いただいております。

「いきがい」をつくるのが健康で長生きできる秘訣であります。

より多くの市民の皆様に、健康ポイント事業に参加していただくとともに、市民の皆様の自主的な事業に対しては「がんばる地域応援事業」で支援を行ってまいります。

観光客誘致についてであります。

本年は、有田焼創業400年であります。

本年4月には肥前窯業圏が佐賀県として初めて日本遺産に認定されております。

この機を逃さず、武雄市におきましても、この秋に古武雄展を開催したいと考えております。

有田焼とあわせて、武雄のやきものの魅力を知っていただき、県の事業との連携強化を行い、さらなる観光客の誘致を図ります。

また、観光客誘致に加え定住促進についても、昨年度27世帯89名の方に移住していただきました。

本年度設置したシティプロモーション室において、教育、観光、移住をパッケージとして武雄市の魅力を全国に発信し、観光客誘致、定住促進に努めてまいります。

安心安全なまちづくりについてであります。

長年の懸案であります六角川流域の水害対策につきましては、流域の皆様が安心して生活できるよう、本年4月まちづくり部内に六角川洪水調整池等整備推進室を設置いたしました。

また、今月末には地権者会の発足も予定されております。

六角川上流部に一時的な調整池を一日でも早く整備できるよう、平成29年度の国の事業化に向けて事業推進を行ってまいります。

合併10周年記念事業についてであります。

5月14日に開催いたしました「武雄温泉リレーマラソン」には、大変多くの市民、企業、団体の皆様に御参加いただき、昨年の約2倍の1700名を超える方々が湖畔通りを走り盛大に開催することができました。

今月19日にはNHKのど自慢、11月6日には佐渡ヶ嶽部屋に御協力をいただき、各町対抗子ども相撲大会を開催いたします。

引き続き、議員の皆様、市民の皆様と一緒に市制施行10周年を盛り上げていきたいと考えております。

今後も議員の皆様と連携しながら、まち・ひと・しごと創生総合戦略を着実に実行し、市民の皆様さま福祉の向上に努めてまいり所存でありますので、議員各位の御理解と御協力を切にお願い申し上げ、私の提案事項説明とさせていただきます。

本議会も、どうぞよろしくお願いいたします。

議長／前田副市長

前田副市長／続きまして、今定例会に提出しております議案について、その概要を申し上げます。

まず、条例議案でございます。

本年9月から、武雄児童クラブの位置を旧武雄保育所園舎に変更するための、武雄市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例など、4件の改正条例をお願いしております。

また事件議案では、設計変更に伴い契約金額に変更が生じたため、武雄市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得及び処分に関する条例の規定により、議会の議決をお願いする武雄競輪場メインスタンド等電気設備、並びに附帯設備工事の一部変更について、ほか2件をお願いしております。

次に、一般補正予算(第3回)について申し上げます。

今回の補正は、国及び県の補助金等を活用した事業の追加など、当初予算編成後の事由により速やかに対応すべき経費について補正をお願いしております。

まず、国や県の補助金等を活用した事業として、新規就農者の確保・育成とあわせて、定住を目的としたトレーニングファームの整備事業補助金、こどもの貧困対策事業の実態調査に要する提起、有田焼創業 400 年事業の一貫として実施する古武雄展の開催経費、幼稚園の認定こども園移行に伴う増改築の経費に要する経費をお願いしております。

また、民と連携した食育推進事業に係る経費のほか、六角川調整池等の整備に要する国の事業化に向けた経費をお願いをしております。

次に、先の議会以降、緊急を要した一般会計の補正予算について専決処分しておりますので、これについても承認をお願いしております。

そのほか、平成 27 年度武雄市一般会計繰越明許費、繰越計算書の報告のほか、6 件の報告をお願いしております。

以上で提案事項の説明を終わりますが、よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

議長／日程第5 教育長の教育に関する報告を求めます。

浦郷教育長／おはようございます。

教育に関する報告を申し上げます。

最初に、4月1日から文部科学省出身の浅井雅司氏を副教育長に任命しております。

浅井副教育長には、主としてこどもの貧困対策、官民一体型学校づくり、ICT 教育について取り組んでいただきます。

また、ICT 教育監として福田孝義氏を任命しており、より充実した教育行政を推進してまいりたい所存でございます。

組織としましては、こどもの貧困対策課を設置しております。

また、文化課内にこども図書館推進室を設置し、事業の推進に努めます。

次に、学校教育についてであります。

官民一体型の学校づくりにつきましては、本年4月から新たに朝日小学校、若木小学校、橘小学校の3校で行っています。

昨年度からの武内小学校、東川登小学校とあわせ、計5校で本格的に始動しております。

ことしで3年目となるプログラミング教育につきましては、山内西小学校で1年生、2年生、3年生の3学年に拡大し、取り組んでまいります。

がん教育につきまして、総合支援事業として山内東小学校で今年度取り組みます。

また、4月10日に山内公民館において、神村学園開校式が盛大に行われましたことを御報告いたします。

次に、子育て関連についてです。

保育料については、4月より低所得者の多子世帯やひとり親家庭への料金引下げを行っております。

また、ファミリーサポート事業についても、ひとり親家庭の利用料金の引下げをいたしております。

次に、生涯学習について申し上げます。

橘公民館につきましては、3月27日に落成式を行っております。

平成28年度は、新しい公民館でのスタートとなりました。

図書館・歴史資料館につきましては、3月31日時点でリニューアル後245万人の方々が来館されております。

また、4月8日から5月29日まで「よみがえった如蘭塾」企画展を開催しました。

今後もさらに利用され、満足していただけるような図書館・歴史資料館を目指してまいります。

スポーツでは、第63回武雄市民体育大会が5月31日から始まりました。

より多くの市民の皆様に参加していただき、応援もお願いいたします。

教育環境の整備では、山内西小学校屋内運動場大規模改造工事、北方小学校管理棟大規模改造工事、武雄北中学校給食室改築工事及び武雄中学校の屋内運動場解体工事などに取り組んでまいります。

教育の振興は、保護者の皆様、市民の皆様の信頼の上に成り立つものだと考えます。

その信頼を構築するために、学校施設設備等安全な教育環境の充実、全国や県の学習状況調査結果の公表、ICT教育環境の整備、教職員の資質向上など、市長部局の後押しと、議会の皆様の御理解と御支援をいただきつつ、推進してまいりました。

今年度も、教育関係者はもとより、市民の皆様の参画と協働をいただきながら、心の通った市民総参加による教育のまちづくりに努めてまいります。

今後ともさらなる御指導・御支援・御協力をお願い申し上げまして、教育に関する報告と

させていただきます。

議長／以上で、本日の日程はすべて終了いたしました。

本日はこれにて散会をいたします。